

## 令和4年度 自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園  
認定こども園 カトリック士別幼稚園

### 1、本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、「おいのり・しんせつ・がまん・ありがとう」の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切に教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と保育者の間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

### 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、当地域において本園が今後担う役割について検討する。

### 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	安全で清潔感のある環境を構成している。 指導計画は、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものになっている。毎月、月案を作成し、遊びに必要な道具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意している。行事は、打ち合わせを密に行い準備をし、こどもがより楽しめるよう考え取り組んでいる。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	保育室が2階のため、園児用の手すりを使い、上りと下りの進行方向を決めている。園舎内外の遊具の安全点検や危険箇所、園内の換気、採光、室温などに気を配っている。床暖房による乾燥を防ぐために加湿器や空気清浄機を設置している。 一人一人の園児の話を聞き、その子の思いを受け止めるよう努めている。毎日の職員の集会の中で、園児について満3歳、年少、年中、年長またはクラスに関係なく保育者全員が情報を共有し、共通理解をするように心がけている。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	職務上知り得た個人情報を管理し外部に漏らさない。 園児の性格や個性を把握し、その子の考えや感じていることの理解に努めている。 研修は、北私幼、北カ幼、旭川カトリック学園などの研修会に積極的に参加し、研修報告書を提出し、資質向上に努めている。今年度は、リモート研修に参加するようにした。 園に神父さまがいなかったため、名寄から来てもらい保育者のための勉強会、園児への宗話を行っている。キリスト教の精神と理念を土台に幅広く

	人間のことを学び保育に活かしている。
--	--------------------

4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	園児の様子は電話や連絡帳で知らせ、直接保護者と顔を合わせた時に表情を見ながら伝える工夫をするように努めている。保護者からの相談や要望に心を開いてよく聞くように努めていきたい。 仕事をしている保護者も増え、連絡網をやめマチコミメールを利用している。 個人情報の管理に気をつけている。 園だより、クラスだよりが保護者にわかりやすいものとなるよう内容や文面を考え、発行している。
5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり、及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	幼保小連携事業では公開授業、懇談会に参加し1年生の授業を参観し、小学校のようすについて話を聞く機会を設けている。 開放事業として親子通園の「ひよこクラブ」を開設している。
6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。	研修会には、自己課題をもって積極的に参加している。研修後には報告書を提出し園児との関わりや保育に活かしている。今年はリモートでの研修を多く受けることができたので出向かなくても参加しやすかった。
7 情報公開 保育の現状や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ積極的に園だより等で情報公開する努力をする。	園だよりでは、園の保育方針を具体的に今月のおやくそく・今月の保育目標として表し、保護者には理解していただけていると思う。 行事等の詳細(いつもと違う登園時間等)については簡潔でわかりやすいものとなるように見直していくことも必要である。 園児の様子を理解していただけるようにクラスだよりを発行している。 ホームページ、インスタグラムを活用して園のようすを知らせている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合いを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践することができた。
---

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	防犯訓練について、警察署に依頼し、対応の仕方を指導していただき、学びを深めるとともに子どもたちと訓練を実施している。決まっている日だけではなく、保育者の訓練として予告なしでの実施も考えている。 防犯カメラを設置し、防犯対策に努めているが、自動ドアの施錠を徹底するなど更なる対策、検討が必要であると考えます。 園内に AED を設置し、職員は普通救命講習を受けているが、確認のため再度講習の依頼を検討中である。

特別支援教育	<p>幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携をできる限り行ってきた。こども通園センターと保健福祉センターとの連携を図り、必要に応じて情報交換を行っている。年1回、士別市による専門支援事業を行い、作業療法士、保健師、こども通園センターの職員に訪問していただき日常生活における基本的な動作や集団生活への適応など、専門的な視点でアドバイスをいただいている。今後も継続し、園生活の中で必要なことに関しては積極的に取り入れていきたい。</p>
園に対する保護者の満足度の把握	<p>本学園の建学の精神に則った独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。</p> <p>前年度と大幅に変わるなどについて保護者に理解していただきながら伝えていきたい。2号認定についても少しずつ定着してきたので1号認定との違いについて保護者の理解を得られていると思う。</p>
認定こども園	<p>認定こども園になり、職員の勤務形態も変わってきていることから、報告・連絡・相談をこれまで以上に徹底し、職員間での共通理解を更に深めていくことができるように努めている。近年、職員の入れ代わりが多く見られ体制が変わっているため、更なる連携と見直しが必要だと感じている。</p> <p>週3回の給食は保護者、こどもたちからも好評を得ている。毎月、会議を行いながらメニューについて検討を重ねている。塩分量にも気をつけている。苦手な食べものにもチャレンジし、みんなで同じ物を食べる喜びなど、心の教育にも努めていきたい。</p>

## 6、学校関係者の評価

<p>保育の計画性 評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感のある環境だと思う。</li> <li>・コロナ禍ということもあり制限が多い中での行事開催や室内遊びなどの園生活でも、子どもたちからの不満の声もなく楽しく充実した毎日を過ごすことができたと感じています。</li> </ul> <p>保育の在り方及び対応 評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カトリック幼稚園の子どもたちは、集団生活でのマナー、人の話を聞く姿勢、小さい子には優しく、みんな仲良くといった社会生活で必要となるルールが他の保育園、幼稚園の子どもたちよりも身につけているという評判もよく聞き、私共もそのように思っています。</li> </ul> <p>保育者としての資質 評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの苦手とすることも、話をよく聞き、一緒になって考え行動していただいていると思います。先生への信頼が厚いです。</li> </ul> <p>保護者への対応 評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響もあり、先生方と関わる時間が少ないこともありますが、こどもの様子を聞くことが少なかったように感じる。</li> <li>・自宅での悩みなども良く聞いて下さり、その時に合わせた対応をして下さいました。</li> </ul>
---

「今朝は〇〇だったけど幼稚園では・・・」と帰りに様子を教えて下さり安心して預けることができました。

地域社会との連携 評価 A

- ・特に意見はありません。

情報公開 評価 B

- ・わかりづらい点が多かったように感じる。
- ・園日より、クラス日よりで日頃の子どもたちの様子を知ることができ、インスタグラムでは楽しそうな表情、活動の様子を見ることができて満足しています。

その他

- ・はだし保育を検討していただけないでしょうか。

## 7、第三者評価

保育の計画性 評価 A

- ・環境整備については行き届いていると評価している。  
「こどもがより楽しめるよう」という配慮に基づいた取り組みの姿勢に好感がもてる。

保育の在り方及び対応 評価 A

- ・スタッフ全員の共通理解を基本に、綿密に情報を共有しようという姿勢が見える。

保育者としての資質 評価 A

- ・人間として生きていく上で最も大切な信仰心を大切に、キリスト教の精神と理念を根本にすえて、教育、保育を推進している。

保護者への対応 評価 B

- ・保護者からの相談や要望には積極的に対応しているが、園の多岐にわたる営みに対する保護者参画の拡大について、さらなる工夫、取り組みが必要ではないか。

地域社会との連携 評価 B

- ・小学校との連携は十分に図られていると思うが、「地域の力を活用する」という視点で、検討してみてもどうか。

情報公開 評価 B

- ・年に2回程度でよいので、地域に園だよりを配布することを検討してはどうか。  
自治会としては地域にある幼児教育施設に対して支え、役立つという方向で関わっていきたいと考えている。
- ・子どもの姿が見える、こどもの声が聞こえる地域であることの幸せを大切にしたい。

## 8、財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。